

第837号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港福会館 5 階

Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622

メール roren@knsu.jp

ホームページ http://kensu.jp/

全国検数労働組合連合
書記局

全国

検数労連

5月14日(木)14:00~14:30 第10回 検数労連26春闘交渉。 26春闘中闘見解に対し、全ての地域から批准・一任を受け、妥結を表明。 賃金引き上げ分については5月分の給与での遡及支払いを確認。

【第10回交渉】

前回の交渉以降、中央本部は更なる修正を求めることは困難と判断し、中闘見解を發出。各地域に対し5月13日正午までに26春闘闘争全般における意見を求めました。

各地域からは昨年比プラス回答を得たことや初任給の引き上げに対して評価する一方、若年層の一部では5桁に届いていない回答であったことや、諸要求部分での回答に前進が見られない点などが不満点として出されていた点が特徴的であったと感じています。

中央本部として、各地域の意見を踏まえ、次の通り態度表明を行いました。26春闘については妥結を表明しました。

【態度表明】

26春闘の妥結の態度表明にあたり、5月13日12時までに各地域からの意見集約をした結果、全地域から批准または一任を受け、26春闘要求全般については要求との関係では不満は残るものの現到達をもって『妥結』を表明する。

検数春闘は、2月13日の第一回交渉で要求書提出以降、今日まで10回の交渉を重ねてきた。

の間、西協会に対して『従業員とその家族の生活を守ること』『従業員個々の働く意欲を高めること』『がいままさに重要であり、要求にもとづく賃上げと諸要求の重要性を主張してきた。そうした人員不足で奮闘努力している職場の思いは、いまま変わらず残っている。その思いを引き続き反映し、『魅力ある検数労働の確立』にむけて、西協会は今後一層の労働環境整備に向けた取り組みが決定的に重要になる。

全国から今春闘の回答全般に対して、評価の声がある一方で、厳しい指摘や不満の声が多く出された。西協会に対する評価点では、昨年比プラス回答、平均5桁回答到達、初任本給の増額は一定評価する。不満では、要求と乖離した回答、生活不安や人員不足の解消には至らない賃上げ額、回答指定日の未提示、諸要求に対する具体性がない等の意見が上げられた。また、各個別に対する意見では、

全日検に対しては要求に沿ってない職務経歴加算、日検に対しては、特別加算による回答提示や一部世代が5桁回答未達などに対する不満が出された。春闘全体では、諸物価高騰から生活を守る賃上げや職場環境改善には道半ばという結果となった。

今後の検数事業を取り巻く環境

は、国策として進められているAI・ターミナル構想や、急速に発展する生成AIなどの技術革新により、大きく変化していくことが予想される。こうした中で、検数事業が時代の変化に対応し、淘汰されることなく事業を発展させていくことが、『事業基盤II生活基盤』の安定に繋がっていくうえで重要となってくる。西協会共に、その根幹を担うのが『人財』であり、特に労働環境整備に資する原資確保に向けた取り組みについては、取引適正化法の施行や、港湾運送事業に係る適正取引ガイドラインの策定、さらに日港協と国土交通省による港湾ユーザー向け連名文書の発信など、料金収受を後押しする環境整備が進められている。

こうした流れに乗り遅れることは、検数職種で働く労働者の労働環境整備や生活水準引き上げに水を差すことに繋がる。労使共通の最重要課題と位置付け、通年課題として取り組みを強く求める。引き続き実効性を高めるため、労使による検証作業が求められる。

以上



次回は26夏季一時金交渉！変わらぬ団結をもって要求貫徹！